

市民文芸

短歌

令和元年
阿南市春季短歌誌上大会選

- 佳作 岡久 利永
 双手挙げ吾の腕の中に走り来た二歳の孫とこ
 いのぼり見上げる
- 佳作 近藤 久子
 新野に母校なくてもキラキラと集いて学べ光
 高校
- 佳作 打樋 光子
 田植機の朝のエンジン陽に響く交響曲を奏で
 るがごと
- 佳作 林 ヤス子
 三日月が風呂の窓より笑つてる吾も笑顔であ
 すもあおうね
- 佳作 荒瀬左知子
 万葉の梅の香清し令和なる新元号は穏やかで
 あれ
- 佳作 中山 芳子
 うんうんと頷きながらあたためてくれたみそ
 汁励ましの湯気
- 佳作 森田 道子
 変形の手もて作りし姑の忌のだんごの丸くな
 らぬを二度揉む
- 佳作 臣永 悦子
 プランターに育つレタスに水を遣る朝の務め
 の一つ守りて

俳句

阿南市俳句連合会選

- 彼の空の君に満月登るらん
 土肥つや子
- 山里も墨絵の如し月明かり
 繁木 良子
- 身ほとりのひとつひとつや秋に入る
 谷中喜代子
- チャン付けで飛び交う車窓天高し
 田上 隆敏
- 稲架掛の香り運び来棚田風
 中富はるか
- 病窓の寢息の向こうチチロ鳴く
 西改 幸
- 夜明け前鹿の声こそあらあらし
 萩原 陽子
- 杭の影沼面にいくつかいつぶり
 小西 晴美
- 色鳥や沖の旭を招き寄せ
 奥田 蒼朗
- 夜なべの灯パツク詰めする作業小屋
 横井 知昭

川柳

阿南川柳会 田上 鶴子選

- 人生のシナリオ今も直す癖
 橋本 征介

愛告げる私あなたに首つたけ
 胸躍る晴れたらいいね初デート
 君の名もまだ知らぬまま片思い
 持って出た傘はどこかで待ちぼうけ
 まだ少し若さが残る鏡見る

多田紀久代
 西田 修身
 渡邊 浪漫
 佐藤つたえ
 原 公美子

一般応募

老うごとに駆け足で来る歳を追う
 五時までは一つおまけについ釣られ
 憧れは美魔女チャレンジフルコース

島尾美津子
 武田 敏子
 仁井 信子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

樁泊に森家墓所を尋ぬ

蜂氏水軍盤據痕
 漁撈海運盛殷村
 尋來瑩域森閑裏
 終古安眠累祖魂

ほうし 水軍 盤據の痕
 ぎょうろう 海運 盛殷の村
 えいいき 森閑の裏
 ちゆうこ 安らかに眠る 累祖の魂

松原 伸夫

月下詩

初秋迎友墨翰筵
 良夜清寒斷俗縁
 鬪句推敲詩就處
 金風靜度月嬋娟

初秋友を迎えて 墨翰の筵
 良夜の清寒 俗縁を断つ
 鬪句推敲 詩就る処
 金風静かに度つて 月嬋娟

井関喜久子

晚秋偶成

寒窗寒月照吟情
 遙繪深秋銀漢明
 披卷剪燈吾意足
 夜長忘刻睡難成

寒窓寒月 吟情を照らし
 遙かに絵く深秋 銀漢明らかなり
 巻を披き灯を剪り吾意足る
 夜長し 刻を忘れ睡り成り難し

増喜 泰典